

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 333

発生場所	外来	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所 (その他)			
関連したもの	椅子、標識・表記・、その他	発生内容の分類	D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
		その他	

発生内容

転落

概要

場所＝吹き抜けの2階、外来待合。

状況＝吹き抜け近くに待合ソファを設置しており、待合ソファの背に小児(5～6歳くらいの男子)が乗り、乗り出すようにガラス越しに階下を見下ろしていた。通りかかった職員が危険を察知し、小児を制止するとともに保護者を探し、母親に誤解のないように丁寧に事情を説明した。

要因

吹き抜け部分の柵を乗り越えられるソファを近くに置いたため。

小さい子供に対しては、保護者や病院スタッフが常に注意を払う必要がある。

対策

ソファを異動。(吹き抜けの柵から遠ざける)

吹き抜け部分に落下防止用のネットを設置。

参照